

# 港区職員退職者会だより

港区職員退職者会  
発行 本郷真一  
編集 恩田英雄



10月20日、第42回定期総会に先立ち、「長寿のお祝い」が行われました。今年、白寿・米寿・喜寿・古希の該当者は計97名で、そのうち33名の方が出席されました。本郷会長から一人一人にお祝い金を贈呈しました。本郷会長も古希の該当者で、副会長の岡部さんから贈呈しました。会長から「次の長寿の祝いの該当年齢を目標に健康でお過ごし下さい」との挨拶があり、喜寿の永尾昇さんから感謝の返礼の挨拶がありました。





**2013年度活動計画(案)、予算(案)、の議案は満場の拍手で決定されました !!**



第42回定期総会は岡部副会長の司会進行により、まずはじめにこの一年の間に物故された会員(24名)の方々に對して黙祷を捧げました。

その後、議長には4月から新しく会員になった天野芳夫さんと新村和彦さんのお二人を選出して開会しました。

はじめに港区職員退職者会を代表して本郷真一会長が挨拶しました。(3頁参照)

次に来賓の挨拶をお一人から受けました。

先ず、鍛田区職労副委員長から『組合員の置かれている厳しい状況の報告と退職者会の発展強化を祈念する』との挨拶をいただきました。



次に遠藤自治退都本部副会長から『ご挨拶をいただきました。』



『港区退職者会より自治退東京都本部に本郷さん、柏さん、辻さんを送り出していただいていることに感謝申し上げます。今日の我々を取巻く政治状況には、首相が毎年交代することで大変厳しいものがあります。これまでの対政府交渉で詰められてきた後期高齢者医療制度の廃止、年金問題等がどうなってしまうのか心配です。まったく先が見えませんが、このような状況の中で政治空白をつ

くる余裕などないはずですが、これからも我々高齢者の生活を守るためお互いに頑張りましょう。』

来賓の挨拶の後、議長より会員総数1017名中、出席者100名、委任状490名、合計590名で総会は成立していることが宣言されました。

次に柏事務局長が、12年度(平成24年度)の活動報告を行いました。組織の現況、会員総数1,017名、機関運営、幹事会3回、常任幹事会13回、活動報告「だより」発行5回、40周年事業7件、定例親睦行事9件23回、例年の集會等を報告しました。

その後、宮崎会計が、12年度(平成24年度)収支決算報告について説明があり、続いて、大友会計監事が代表して、「監査を行った結果、適正かつ正確であった」との報告がありました。

**報告は全て全体の拍手で承認されました。**

次に辻副会長が、第1号議案13年(平成25年)度の活動計画案を提案しました。

特徴点は、会員全体に行きわたる事業を行っていく。その一つとして、「だより」の一部をカラー印刷にして行く。財政確立と再任用制度の導入などから、70歳の古希の祝

いを「長寿の祝い」から2017年度該当者を最後に廃止していく。多種多様な事業を取り組んでいく。などを中心にした、6つの活動目標と9つの具体的な取り組みを提案しました。

質疑の中で、中田啓猛さんから次の様な意見が出されました。

『メール等が普及している今日、岡村さんがホームページを作っているし、パソコンを利用しての連絡体制を考へてはどうか』

執行部からは『検討したい』旨の回答がされ、その後、全体の拍手で決定されました。

次に宮崎会計が第2号議案13年(平成25年)度の予算案(予算規模540万円)について、提案しました。

特徴点は、事務処理費の増額を抑える。「だより」の印刷費を増額する。今年度から、「特別積立金」から10万円を一般会計に繰り入れる。クラブ活動補助費の減額等の提案を行い、全体の拍手で決定されました。

議事終了後、議長がスローガンを読み上げ全体の拍手で確認し、第42回定期総会は終了しました。

『長生きして良かった』と  
 実感できる社会を  
 作って行こう!!  
 本郷会長あいさつ



日本の人口の内65歳を超える人が3千万人を突破し、少

子化の進行という状況も相まって、65歳以上の人口は全国民の24%を超える超高齢社会となっています。

世界に例を見ない超スピードの超高齢社会の状態は、日本社会のあらゆる分野に大きな影響を及ぼしています。とりわけ私たち高齢者をめぐる現状は、年金・医療・介護を中心とする福祉分野に大きなしわ寄せとなつて襲いかかってきており、老後の将来に大変な不安を与えております。

また、昨年3月11日の東日本大震災、そして東電第一原発の爆発事故などの復興も遅々として進まず、政治の不安定も加わつて「社会保障と税の一体改革」も消費税増税が先行実施となるなど私たちの将来不安を増幅しているのが現状であります。

こうしたもつとで、私たち港区職

員退職者会は、昨年は結成40周年を迎え、東京の中で1・2を誇る退職者会へと発展してきました。会員の親睦や交流を基軸に組織の強化と団結を実現させてきました。これからもこうした力を大切にしながら、全国の仲間、地域の仲間、そして現職の仲間と連携を強め生活の不安の解消に努力し、長生きして良かったと実感できる社会を作つていこうではありませんか。

最後にこの1年にお亡くなりになつた仲間のご冥福をお祈りすると同時に、病と闘つている多くの仲間の一日も早い元気回復をお祈りご挨拶とさせていただきます。

『懇親会』 盛大に行われる

総会終了後、宮田副会長の司会で懇親会が開催されました。多くの来賓の方がお見えになり、懇親会を盛り上げてくださいました。

- |         |         |
|---------|---------|
| 港区副会長   | 田中 秀司 様 |
| 港区議会議長  | 菅野 弘一 様 |
| 中央ろうきん  |         |
| 新橋支店長   | 藤原 勤 様  |
| 全労済南部支所 |         |
| 事業推進課長  | 森山 真吾 様 |
| 港区職労担当  | 武藤 義明 様 |
|         | 来賓の方々   |



武井区長の挨拶要旨

総会の途中、武井区長がお見えになり、記念撮影に参加され、続けて挨拶を頂きました。

『港区職員退職者会の皆さん総会おめでとうございませす。私も3期目を迎え、港区民の安心安全に向けて一層邁進していく決意です。6月の選挙に際しては、退職者会の皆さんの物心両面にわたるご支援に大変勇気づけられ、深く感謝申し上げます。本郷会長はじめ皆さまの健康と退職者会のみまますの発展を祈念いたします。』



田中副会長



菅野区議会議長







年一回の再会を喜び、近況や現職当時の話題で会は盛り上がり、午後2時過ぎ、辻副会長の「時間ですので、ここで開きとします」の発声で、和やかな懇親会は終了しました。ご協力ありがとうございました。



全労済南都支所  
森山 担当課長

藤原 新橋支店長

